

世 界 史

(問 題)

2020年度

〈R02143412〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～9ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	○ 悪い	○ 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

	万	千	百	十	一
(例) 3825番⇒		3	8	2	5

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

I 次の文章を読み、設問1～9についてそれぞれ解答を一つ選んで、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

近年、曹操^aの墓が同定され、史書に残る遺令通り、当時の上流層の墓としては薄葬であったことが確認された。この事例のように、古墓の発掘によって、史書の内容が確認されたり、新たな事実が明らかにされたりすることがある。たとえば、1970年代に発掘された前漢時代の馬王堆漢墓からは、文字を記すための媒体として竹簡・木簡に加え、(あ)を用いて記された多様な史料が発見され、そこにはすでに失われ現代に伝わっていなかった文書も含まれていた。また、同じく前漢時代の銀雀山漢墓群からは、『孫子』の竹簡写本がみつき、その成立過程について新たな知見が得られた。

一方、殷墟近郊では、地中深く掘られて造営された歴代殷王の墓が発掘されている。殷に続く周(西周)の王墓の様相は不明瞭であるが、春秋・戦国時代に墳丘が確認される古墓の事例が増加し、秦の始皇帝によって格段に規模の大きな陵(始皇帝陵)の造営が始められた。こうして、王朝滅亡時の混乱の影響を受けた皇帝や、「塚」を備えた陵墓を造らず、墓所も秘密とされてきた大モンゴル国(モンゴル帝国)の伝統を受け継いだ元朝の皇帝のような例外はあるものの、中国歴代皇帝の陵墓の多くは、目に見える形で大規模に造営されることになったのである。たとえば、西安の北には、高宗とその妃であった(い)の合葬墓である乾陵など、唐の歴代皇帝の陵墓が点在し、唐十八陵と総称されている。また、明朝・清朝の歴代皇帝などの墓は、「明・清朝の皇帝陵墓群」として世界遺産にも登録されている。こうした陵墓は、皇帝の権威や権力を後世に伝え、その後継者による支配を正当化するモニュメントでもあったと言えよう。

もちろん、そうしたモニュメントとして機能したのは、陵墓だけではない。たとえば、その造営初期において、間接的にインドの仏教文化の影響が認められる雲崗石窟では、洛陽に遷都する前の北魏の歴代皇帝の姿を模したとされる石仏が造られた。これは、「皇帝即如来」という北魏の仏教思想の一端を示している。

近現代においても、過去の権力者のモニュメントを利用しようとする事例がある。たとえば、内モンゴル自治区のウランホト市には「成吉思汗廟」、同じくオールドス市には「成吉思汗陵」が存在する。前者は、満州国の統治下で建設されたものであり、後者は、チンギス=ハンをまつてきた移動式の天幕(オールド)を改めて、1950年代に中国共産党が固定施設として建築したものである。また、中華人民共和国の指導者たちのうち、周恩来や鄧小平の遺骸は散骨されたが、毛沢東の遺体は、華国鋒が主導して天安門広場にある毛主席紀念堂に安置され、現在も公開されている。

設問1 下線部aに関連し、「曹操」について述べた以下の文のうち、正しいものはどれか。

- ① 曹操は、太平道の信徒を中心とする紅巾の乱を経て、各地に割拠する群雄の一人となった。
- ② 曹操は、華北で大きな勢力を築いたが、赤壁の戦いでは孫権・劉備の連合軍に敗れた。
- ③ 曹操は、後漢の最後の皇帝から禅譲され、魏の初代皇帝となった。
- ④ 曹操は、使者を送ってきた邪馬台国の卑弥呼に対し、「親魏倭王」の金印と銅鏡を下賜した。

設問2 空欄(あ)に入る語句として、最も適切なものはどれか。

- ① パピルス
- ② 粘土板
- ③ 絹布(帛)
- ④ 羊皮紙

設問3 下線部bに関連し、現代に伝わる『孫子』の内容について述べた文として、最も適切なものはどれか。

- ① 『孫子』では、戦いにおける情報分析の重要性が指摘され、また戦わずして勝つことが最上だとされている。
- ② 『孫子』では、易姓革命が主張され、徳を備えた有力者が武力によって支配者を討つ放伐が正当化されている。
- ③ 『孫子』には、著者とその弟子たちが防衛戦術の専門家集団を形成し、依頼に応じて各地の守城戦に参加したことが記されている。
- ④ 『孫子』では、性悪説の立場から戦争は不可避であるとされ、徳目のうち、とくに「礼」の必要性が主張されている。

設問4 下線部 c に関連し、王朝の滅亡に関わる皇帝について述べた以下の文のうち、正しいものはどれか。

- ① 王莽は、殷代を理想として復古主義的な政策を強行し、赤眉の乱を招いた。
- ② 煬帝は、江南と華北を結ぶ大運河建設に力を入れる一方で、積極的な外征を行ったが、高句麗遠征に失敗した。
- ③ 徽宗は、靖康の変の際に皇帝に在位したまま金に連行され、その地で没した。
- ④ 万曆帝は、張居正を用いて財政再建に努めたが、長じると政務を顧みず黄巢の乱を招いた。

設問5 下線部 d に関連し、「大モンゴル国（モンゴル帝国）」について述べた以下の文のうち、明白な誤りを含むものはどれか。

- ① オゴタイは、金を滅ぼし、またカラコルムに都城を築かせた。
- ② バトゥは、ヨーロッパ遠征軍を率いて、キエフ公国を服属させた。
- ③ フラグは、西アジアへ遠征し、バグダードを攻略してウマイヤ朝を滅ぼした。
- ④ ハイドゥは、大ハーン（皇帝）に即位したフビライに従わずに、中央アジアで半ば自立した。

設問6 空欄（い）に入る適切な人物名はどれか。

- ① 閔妃 ② 楊貴妃 ③ 西太后 ④ 則天武后

設問7 下線部 e に関連し、「インドの仏教文化」について述べた以下の文のうち、明白な誤りを含むものはどれか。

- ① ガウタマ＝シッダールタ（ブッダ）の遺骨を納めたとされるストゥーパが、各地に造営された。
- ② アショカ王は、仏教の教えを広めて統治に生かすために各地で仏像を製作させた。
- ③ アジャンター石窟寺院群の仏教絵画の影響は、焼損した法隆寺金堂壁画にも認められる。
- ④ ナーランダ僧院は、仏教の教学の中心となり、唐の僧である玄奘や義浄も学んだ。

設問8 下線部 f に関連し、「満州国」について述べた以下の文のうち、明白な誤りを含むものはどれか。

- ① 関東軍は、柳条湖で鉄道を爆破し、それを中国側の仕業として軍事行動を拡大し、中国東北部のほぼ全域を占領した。
- ② 辛亥革命によって退位していた溥儀は、満州国の執政として迎えられ、さらに満州国皇帝となった。
- ③ リットン調査団の報告を受けた国際連盟は、日本の軍事行動を自衛権の発動であるとは認めず、満州国の不承認を決議したため、日本は国際連盟を脱退した。
- ④ ノモンハン事件では、満州国とソ連との国境地帯をめぐる日本軍とソ連軍が衝突したが、のちに日ソ中立条約によって、満州国の領土保全が定められた。

設問9 下線部 g に関連し、「中華人民共和国の指導者たち」について述べた以下の文のうち、明白な誤りを含むものはどれか。

- ① 毛沢東は、長征の過程で中国共産党での指導的立場を強化し、中華人民共和国の初代国家主席となったが、「大躍進」運動を進めて失敗した。
- ② 華国鋒は、「四つの現代化」を標榜するとともに、『毛沢東語録』を編纂して毛沢東思想・毛沢東崇拜の拡大を図った。
- ③ 周恩来は、インド首相のネルーとの会談で「平和五原則」を確認し、これはアジア＝アフリカ会議における「平和十原則」に影響を与えた。
- ④ 鄧小平は、改革・開放政策をすすめ、また香港返還をイギリスのサッチャー首相と合意した。

II 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。解答はマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

キリスト教は属州ユダヤとしてローマに支配されていたパレスチナの地に生まれた。イエスはローマの支配に苦しむ民衆に神の救済を説いた。彼の処刑後、イエスとその活動にたいする信仰が生まれ、教団が形成された。その教えはパレスチナを越えてローマ帝国各地に広まった。しかし、ローマ在来の宗教との軋轢からローマの一般民衆はキリスト教に反感を抱き、それは例えばタキトゥスの(③)にも示されている。

けれども、この段階ではローマ皇帝が積極的にキリスト教を弾圧することはなかった。例えば、五賢帝の一人トラヤヌス帝が『博物誌』を著した(⑤)の甥に宛てた書簡では、国家の役人がキリスト教徒を捜し出すことはない、と述べられている。問題は、死後に神となるローマ皇帝が存命中から神に擬せられて崇拜されるローマ皇帝崇拜と一神教であるキリスト教の教義との相克だった。とりわけ、2世紀後半にローマ帝国の衰退の兆候が現れると、皇帝を含めた神々に帝国の安寧を願う一般民衆とそれにしがわかないキリスト教徒の対立が顕著になった。しかし、ササン朝等の外部からの侵攻が激しくなった230年代には、帝国の存立を祈ってローマ古来の神々と共にキリストの像も皇帝の宮殿の祭壇に建てられていたと伝わる。

235年から始まる軍人皇帝時代にローマ帝国の国力は地に落ち、その回復に向けて帝国はローマ古来の神々への供犠を命じたが、キリスト教徒はこれを拒否した。こうして、帝国の積極的なキリスト教弾圧が始まる。最も苛烈で長期の弾圧はディオクレティアヌス帝の統治下で生じた。けれども、それは帝国による最後のキリスト教弾圧となった。

313年、コンスタンティヌス帝はミラノ勅令を発しキリスト教を公認した。やがて、ローマ皇帝とりわけコンスタンティヌス帝はキリスト教神学でキリストに準じる位置を与えられた。こうして、キリスト教の教義とローマ皇帝崇拜の矛盾が除かれた。キリスト教は4世紀前半には実質的なローマ国教となった。そして、キリスト教の正統教義の決定に帝国も大きく関わり、ついにテオドシウス帝の下でキリスト教は正式にローマ国教となった。

設問1 下線部①のパレスチナについて、明白な誤りを含む文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア 古くはカナンと呼ばれ、パレスチナという名称はベリシテ人に由来する。
- イ ヘブライ人はこの地に前1000年頃にイスラエル王国を建設したが、前920年頃にイスラエル王国とユダ王国に分裂した。
- ウ イスラエル王国とユダ王国を滅ぼした新バビロニアによってユダヤ人はパレスチナからの移住を強制され、パレスチナは新バビロニアの支配に服した。
- エ アケメネス(アカイメネス)朝がパレスチナの支配を実現すると、アケメネス(アカイメネス)朝はパレスチナへのユダヤ人の帰還を許した。

設問2 下線部②に関連して、初期キリスト教の伝道活動について明白な誤りを含む文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア イエスが福音を伝えるために選んだ弟子を使徒といい、その一人であるユダがイエスを裏切り敵対者に引き渡した。
- イ 使徒の伝道活動を記す『使徒行伝』がイエスの存命中に編纂された。
- ウ ペテロは十二使徒の筆頭としてイエスの処刑後にもキリスト教の教義の普及に大きな役割を果たした。
- エ パウロはローマ市民権を持つパリサイ派のユダヤ教徒だったが、回心してキリスト教徒になり、使徒の一人に加えられた。

設問3 (③)に入る適切な作品名を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア 『国家論』
- イ 『年代記』
- ウ 『対比列伝』
- エ 『地理誌』

設問 4 下線部④の五賢帝について、正しい内容の文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア ネルヴァ帝から、ハドリアヌス帝、トラヤヌス帝、アントニヌス＝ピウス帝、マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝へと続く5人の皇帝が統治した時代を五賢帝時代という。
- イ ハドリアヌス帝はローマ帝国の最大領土を実現し、ブリタニアに長城を築いた。
- ウ トラヤヌス帝は初の属州出身の皇帝で、ダキアを属州とし、メソポタミアの征服に一時は成功した。
- エ マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝はエピクロス派の哲学者で『自省録』を著し、『後漢書』では大秦王安敦とされている。

設問 5 (⑤) に入る適切な人名を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア オウイディウス イ セネカ ウ ホラティウス エ プリニウス

設問 6 下線部⑥のササン朝について、明白な誤りを含む文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア アルダシール1世がアルサケス朝バルティアを破り、クテシフォンを都として建国した。
- イ ササン朝第2代の王シャープール1世はローマ皇帝ヴァレリアヌスを戦闘で破り捕虜とした。
- ウ ホスロー1世はササン朝の最盛期を実現し、東ローマ皇帝ユスティニアヌス1世と戦った。
- エ ササン朝美術は日本にも伝わり、法隆寺蔵の漆胡瓶がその代表である。

設問 7 下線部⑦のディオクレティアヌス帝について、正しい内容の文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア 軍人皇帝時代の混乱を收拾するために共和政的な権威の復興に努めた。
- イ 広大な帝国の統治のために四帝分治制(テトラルキア)を導入し、二人の正帝と二人の副帝で帝国を分担して統治した。
- ウ 官僚制を実現するための税収入増加をめざして、帝国に居住するすべての自由人にローマ市民権を付与した。
- エ 産業の育成に努め、内陸アジアから養蚕技術を導入した。

設問 8 下線部⑧のコンスタンティヌス帝について、明白な誤りを含む文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア デイオクレティアヌス帝退位後に生じた混乱を收拾して帝国を再統一し、324年に単独皇帝となった。
- イ 税収入の確保を目的としてコロヌスの移動を禁じる法令を発した。
- ウ ローマ古来の神々をまつる神殿が多数あるローマを離れ、ビザンティウムをコンスタンティノーブルと改名し、帝国の新しい首都とした。
- エ ソリドゥス金貨(ノミスマ)を鑄造して交易の安定化を図ったが、この貨幣はコンスタンティヌス帝の死後には用いられなくなった。

設問 9 下線部⑨に関連して、異端とされた教義について正しい内容の文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア アリウス派はニケーア公会議で異端とされ、アリウス派を復興しようとしたユリアヌス帝は「背教者」と呼ばれた。
- イ アリウス派は、東ゴート、西ゴート、ヴァンダルなどのゲルマン諸部族に伝播し、中世南フランスではアルビジョワ派と呼ばれた。
- ウ エフェソス公会議やカルケドン公会議で異端とされたネストリウス派は、中国に伝わり祇教と呼ばれた。
- エ カルケドン公会議で異端とされた単性論は、今日でもコプト教会、シリア正教会等で信奉されている。

Ⅲ 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。解答はマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

4世紀後半の西ヨーロッパでは、一般的にゲルマン人の大移動と呼ばれる現象が始まっていたが、北ヨーロッパのスカンディナヴィア半島やユトランド半島にも、ゲルマン人の一派が住んでいた。彼らは北方に住んでいたためノルマン(北方)人と呼ばれ、^①8世紀後半から商業や海賊・略奪行為を目的として活発にヨーロッパ各地に進出し始めた。ヴァイキングと総称され恐れられた彼らは、独特な軽船のヴァイキング船を操り、ヨーロッパの河川や沿岸部を侵略した。ノルマン人は9世紀後半にセーヌ川中流域を侵略し、これを防衛したパリ伯ウードの家系が、10世紀末に **A** 朝を創始した。一方、^②10世紀初めにノルマン人の首長が率いた一派は、北フランスに上陸しノルマンディー公国を建て、ここから分かれた一派は、12世紀前半に南イタリアとシチリア島を侵略した。また大ブリテン中・南部でもノルマン人の侵入に悩まされた。さらに、別のノルマン人の一派はドニエプル川流域のスラヴ人地域に進出して、ノヴゴロド国やキエフ公国を建設した。彼らは、^③ビザンツ帝国と接触を重ね、西ヨーロッパとは異質な社会を形成し、10世紀末ごろには、多数派であるスラヴ人に同化していった。

11世紀ごろには、スカンディナヴィア・ユトランド半島にいたノルマン諸部族は統合され、ノルウェー・スウェーデン・デンマークの3王国が成立し、キリスト教の布教などをおして、しだいに西ヨーロッパ世界に組み入れられていった。^④14世紀末、デンマーク女王のもとで北欧3国がカルマル同盟を結び、同君連合の王国が成立して北欧が一大勢力となった。その後、この3王国は対立と抗争を繰り返したが、1523年にスウェーデンがグスタフ1世の下で独立し、絶対王政の軍事国家として発展した。17世紀前期にスウェーデン国王となったグスタフ＝アドルフは、ヨーロッパの覇権とバルト海の制海権を狙って、^⑤三十年戦争に大きく介入し、「バルト帝国」と呼ばれる支配権を確立させた。17世紀末に、このスウェーデンで、年少の **B** が王位につくと、ロシアのピョートル1世は、^⑥ポーランド・デンマークと同盟して、スウェーデンと北方戦争を起こした。この戦争は当初スウェーデンが優勢であったものの、ロシアは態勢を立て直して、最終的に大勝利を遂げた。ロシアはバルト海の覇権を獲得し、北欧・東欧における大国の地位を固め、バルト海沿岸に建設されたサンクト＝ペテルブルクを新たな首都として、ヨーロッパの強国に発展していった。

設問1 下線部①に関連して、次の1～4の説明の中から、8世紀後半の出来事として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- 1 ピピンがフランク王国のメロヴィング朝を廃して、カロリング朝を建てた。
- 2 イスラームのアッバース朝では、ハールーン＝アッラシードが即位した。
- 3 トレドを都とする西ゴート王国が滅亡した。
- 4 イベリア半島に、イスラームの後ウマイヤ朝が成立した。

設問2 下線部②に関連して、このノルマンディー公国を建国した人物は誰か。次の1～4から一人を選びなさい。

- 1 リューリク
- 2 エグバート
- 3 アラリック
- 4 ロロ

設問3 下線部③に関連して、ビザンツ帝国について述べた次の1～4の説明の中から正しいものを一つ選びなさい。

- 1 ビザンツ帝国では、7世紀以降、公用語としてラテン語が用いられ、西欧のラテン的・ローマ＝カトリック的文化との融合が図られた。
- 2 ビザンツ帝国では、7世紀以降、帝国をいくつかの軍管区に分割し、その司令官に軍事・行政権を与える軍管区制(テマ制)がしかれた。
- 3 10世紀末、ウラディミル1世は、周辺諸民族と戦って、ビザンツ帝国の領土を拡大した。
- 4 オスマン帝国のセリム1世は1453年にコンスタンティノープルを陥落させ、これによってビザンツ帝国は滅亡した。

設問4 下線部④に関連して、デンマークやカルマル同盟について述べた次の1～4の説明の中から明白な誤りを含むものを一つ選びなさい。

- 1 ユトランド半島一帯のノルマン人はデーン人と呼ばれ、デンマーク王国を形成した。
- 2 11世紀に、デンマーク王のクヌート（カヌート）がイングランドを征服し、新たな王朝を建てた。
- 3 カルマル同盟は、デンマーク女王マルグレーテが主導して、デンマークのカルマルで結成された。
- 4 カルマル同盟は、リューベックを盟主とするハンザ同盟と、北ヨーロッパの商業上の利益をめぐって争った。

設問5 下線部⑤に関連して、三十年戦争について述べた次の1～4の説明の中から正しいものを一つ選びなさい。

- 1 ハプスブルク家がカトリック信仰を強制したのに対して、ペーメン（ボヘミア）の新教徒が反乱をおこしたことで、三十年戦争が始まった。
- 2 備兵隊長ヴァレンシュタインは、新教徒側に立って、デンマークやスウェーデンの旧教徒軍と戦った。
- 3 和平会議がオランダのウエストファリアで開催され、これによりヨーロッパの近代的な主権国家体制が成立したとされている。
- 4 カトリックのフランスは、リシュリユーの指導のもとで、旧教徒側に立って戦い、アルザスとロレーヌを獲得した。

設問6 下線部⑥に関連して、ポーランドについて述べた次の1～4の説明の中から誤りを含むものを一つ選びなさい。

- 1 ポーランド国王カジミェシュ（カシミール）は大王と称され、ドイツ騎士団の入植やユダヤ人の移住を奨励し、経済を発展させた。
- 2 14世紀後半に、リトアニア大公国とポーランド王国による同君連合王国として、リトアニア＝ポーランド王国が成立した。
- 3 16世紀後半に、ポーランドではヤゲウォ（ヤゲロー）朝が成立し、選挙王政が導入された。
- 4 ポーランドの軍人コシチュシコ（コシチュシコ）は、アメリカの独立戦争に参加した。

設問7 に入る適切な語を次の1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 シュタウフェン 2 カペー 3 ヴァロワ 4 テューダー

設問8 に入る適切な語を次の1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 カール4世 2 ヨーゼフ2世 3 フリードリヒ1世 4 カール12世

IV 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。解答はマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

^a産業革命による工業化は、人々の生活条件に大きな変化をもたらした。イギリスでは、都市への人口集中の結果、マンチェスターやリヴァプールといった商工業都市が発達した。大規模な工場で働く労働者は、安い賃金で雇われ、不衛生な環境のもとで長時間の労働を強いられることが多かった。また、大気や水の汚染が深刻化し、コレラや結核などの病気が流行した。都市化が進行した19世紀のヨーロッパ諸国では、このように深刻な労働問題、社会問題が発生し、その解決をめざす社会主義思想が誕生した。

社会主義の動きは、資本主義の弊害を批判して、理想社会を構想する試みとなってあらわれた。その例として、イギリスの工場経営者オーウェンやアメリカ独立戦争に義勇兵として参加したフランスの の思想が挙げられる。また、ドイツ生まれのマルクスは友人エンゲルスと協力して『共産党宣言』を発表し、万国の労働者の団結による社会主義の実現を説いて、^c以後の社会主義運動に大きな影響を与えた。

アジアに目を向けると、^dロシア革命後、中国にもマルクス主義が紹介された。1921年には中国共産党が結成され、^e第

一次世界大戦の時期に **A** で雑誌『新青年』を刊行した **B** がその指導者となった。また、外モンゴルでは1924年にソ連の影響のもと、社会主義を掲げるモンゴル人民共和国が成立した。

第二次世界大戦中、ソ連は、軍事力によってナチス＝ドイツの支配から多くの東欧諸国を解放し、戦後、ハンガリー、ルーマニア、ブルガリア、ポーランドに共産党を中核とする連立政権をつくるなどして影響下に組み入れた。また、ソ連に頼らず自力でナチス＝ドイツの支配を打破したユーゴスラヴィアやアルバニアは、大戦中に抵抗運動を行っていた共産党を中心に社会主義国家を樹立した。

設問1 下線部 a に関連して、産業革命期の技術革新に関する出来事について述べた次の文章のうち、正しいものはどれか。次の中から一つ選びなさい。

- イ 1730年代にニューコメンが蒸気機関を実用化した。
- ロ 1760年代にカートライトが力織機を発明した。
- ハ 1770年代にクロンプトンがミュール紡績機を発明した。
- ニ 1820年代にフルトンが蒸気船を実用化した。

設問2 **b** に入る最も適切な語を次の中から一つ選びなさい。

- イ フーリエ
- ロ ルイ＝ブラン
- ハ ブルードン
- ニ サン＝シモン

設問3 下線部 c に関連して、『共産党宣言』の発表以後の社会主義運動に関する出来事について述べた次の文章のうち、明白な誤りを含むものはどれか。次の中から一つ選びなさい。

- イ パリに各国の労働運動組織が集まり、第2インターナショナルが結成された。
- ロ マルクス主義者のプレハーノフやバクーニンによってロシア社会民主労働党が結成された。
- ハ ローザ＝ルクセンブルクとカール＝リープクネヒトを指導者とするスパルタクス団を中心に、ドイツ共産党が結成された。
- ニ ドイツ社会主義労働者党は、社会主義者鎮圧法の廃止後、ドイツ社会民主党と改称して勢力をのばした。

設問4 下線部 d に関連して、ロシア革命に関する出来事について述べた次の文章のうち、明白な誤りを含むものはどれか。次の中から一つ選びなさい。

- イ 首都ペトログラードでパンと平和を求める民衆の大規模なデモやストライキがおこると、兵士もこれに加わり、各地で労働者・兵士がソヴィエトを結成した。
- ロ 皇帝ニコライ2世が退位してロマノフ朝が倒れ、帝政は崩壊した。
- ハ 亡命先のスイスから帰国したレーニンが四月テーゼを発表した。
- ニ メンシェヴィキが武装蜂起して、社会革命党のケレンスキーを首相とする臨時政府を打倒した。

設問5 下線部 e に関連して、第一次世界大戦中の中立国にあてはまらないものはどれか。次の中から一つ選びなさい。

- イ スペイン
- ロ ポルトガル
- ハ デンマーク
- ニ ノルウェー

設問6 **A** , **B** に入る語の組み合わせとして正しいものを次の中から一つ選びなさい。

- イ A 上海 B 陳独秀
- ロ A 上海 B 胡適
- ハ A 北京 B 陳独秀
- ニ A 北京 B 胡適

設問7 下線部 f に関連して、ナチス＝ドイツの支配に関する出来事を年代順に正しく並べたものを一つ選びなさい。

- イ ロカルノ条約破棄 ⇒ ザール編入 ⇒ オーストリア併合
- ロ ロカルノ条約破棄 ⇒ オーストリア併合 ⇒ ザール編入
- ハ ザール編入 ⇒ オーストリア併合 ⇒ ロカルノ条約破棄
- ニ ザール編入 ⇒ ロカルノ条約破棄 ⇒ オーストリア併合

設問8 下線部 g に関連して、1939年にアルバニアを併合した国を次の中から一つ選びなさい。

- イ イタリア
- ロ ギリシア
- ハ トルコ
- ニ ユーゴスラヴィア

V メキシコの独立達成後から20世紀末までの間、メキシコとアメリカ合衆国との関係はどのように変遷してきたか、以下の語句をすべて用いて、250字以上300字以内で説明しなさい。なお、句読点、数字は1字に数え、指定の語句には必ず下線を付しなさい。

テキサス併合

メキシコ革命

キューバ革命

北米自由貿易協定

[以下余白]

世界史 記述解答用紙

注意

- (1) 所定の欄以外に番号・氏名を書いてはならない。
- (2) 解答は黒鉛筆(HB)またはシャープペンシル(HB)を使用のこと。

受験番号	万	千	百	十	一
氏名					

(注意) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

受験番号	万	千	百	十	一
氏名					

(注意) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

V

世界史

採点欄

(この欄に書き入れてはならない)

V

